

<パイの上がりが悪い、吸い込みが悪い等>

最後まで読んでから  
始めて下さい。

## 1. ターンテーブル(T.T)とマグネット(MG)のタイミングが悪い場合。

(チェーンのズレによるもの)

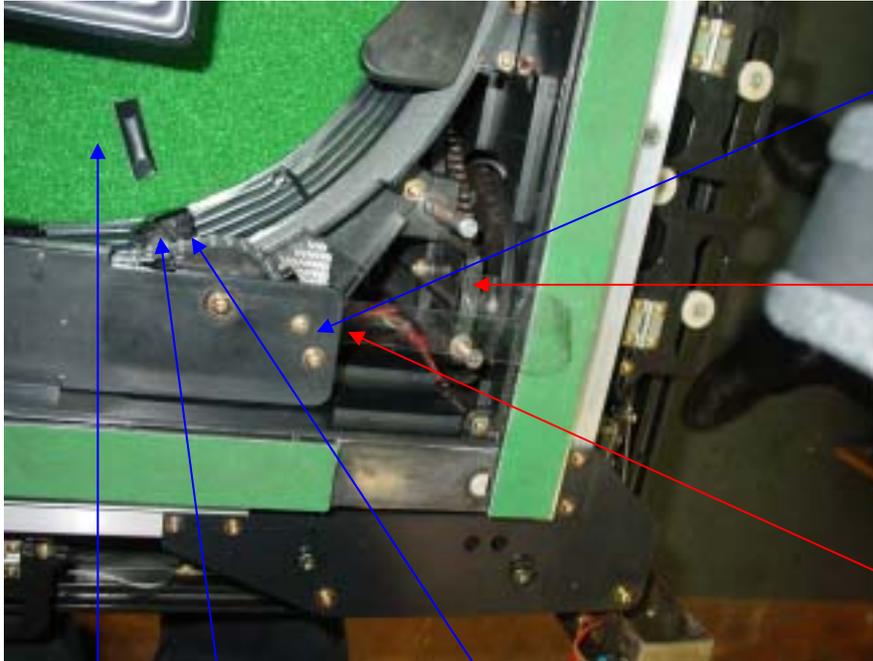
### 作業工程

シューの下面にセロテープの片側を貼り付け、反対側を適当な場所に貼り付ける。

\*シューはチェーンの脱輪を防止する為のものです。

\*シューの形状については、**下面の図を参照**して下さい。

### 1 図



シューの位置

(この下部にあり、チェーンの外れを防止している。)

セロテープの反対側

\* 取り外し作業中にシューを機械内部に落とさない為にセロテープを貼る。

セロテープの片側

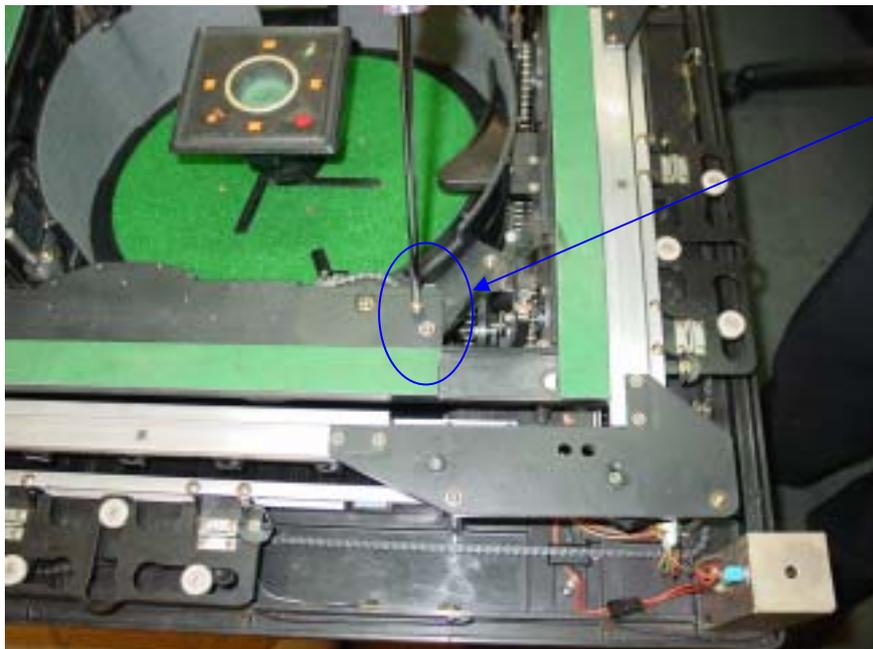
走行チェーン(チェーン)

マグネット(MG)(チェーンに固定されています。)

ターンテーブル(T.T)

シュー固定ビス1本とセンターラック固定ビス1本の計2本を外す。

### 2 図



上部(シュー固定ビス)

下部(センターラック固定ビス)

シュー(部品名)



シューを取り外す。

センターラックを3図の様に指で軽く持ち上げて外します。

(シューの厚み分だけ持ち上げる)

3 図

持ち上げる箇所



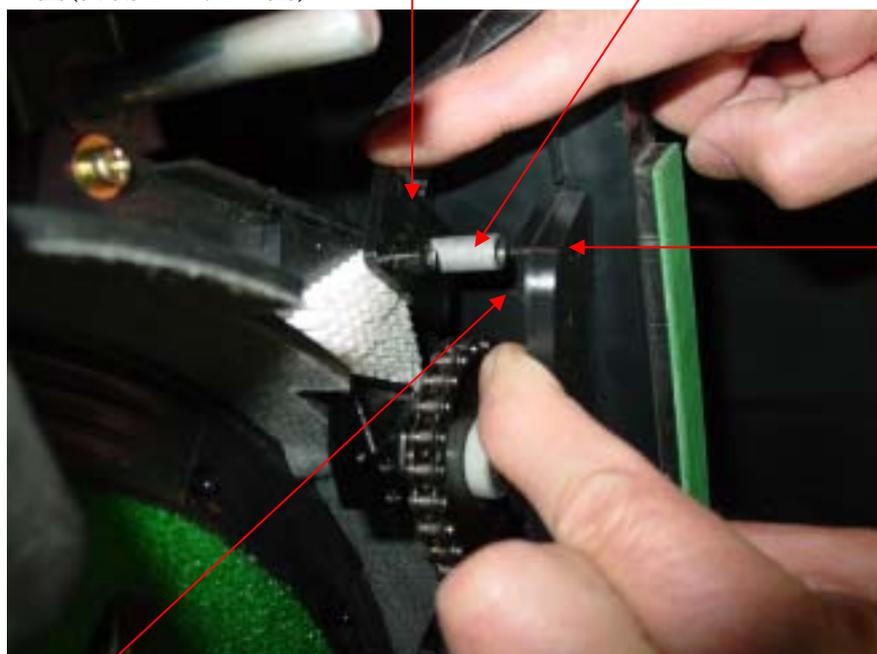
\* センターラック固定柱とセンターラック底面に隙間をつくり、その隙間からシューを取り外します。

4 図(内側から見た図)

シュー

センターラック固定柱

センターラック



柱とラックの隙間(ここからシューを取り外す。)

5 図(シューを取り外し、真上に置いた図です。)



シュー

(この場所ではなく邪魔にならない場所に置く)

チェーンを1コマずつずらし、MG と T.T の突起を合わせる。

(1コマずらしたら T.T を反時計方向に回しながら、ゆっくり作業を行って下さい。)

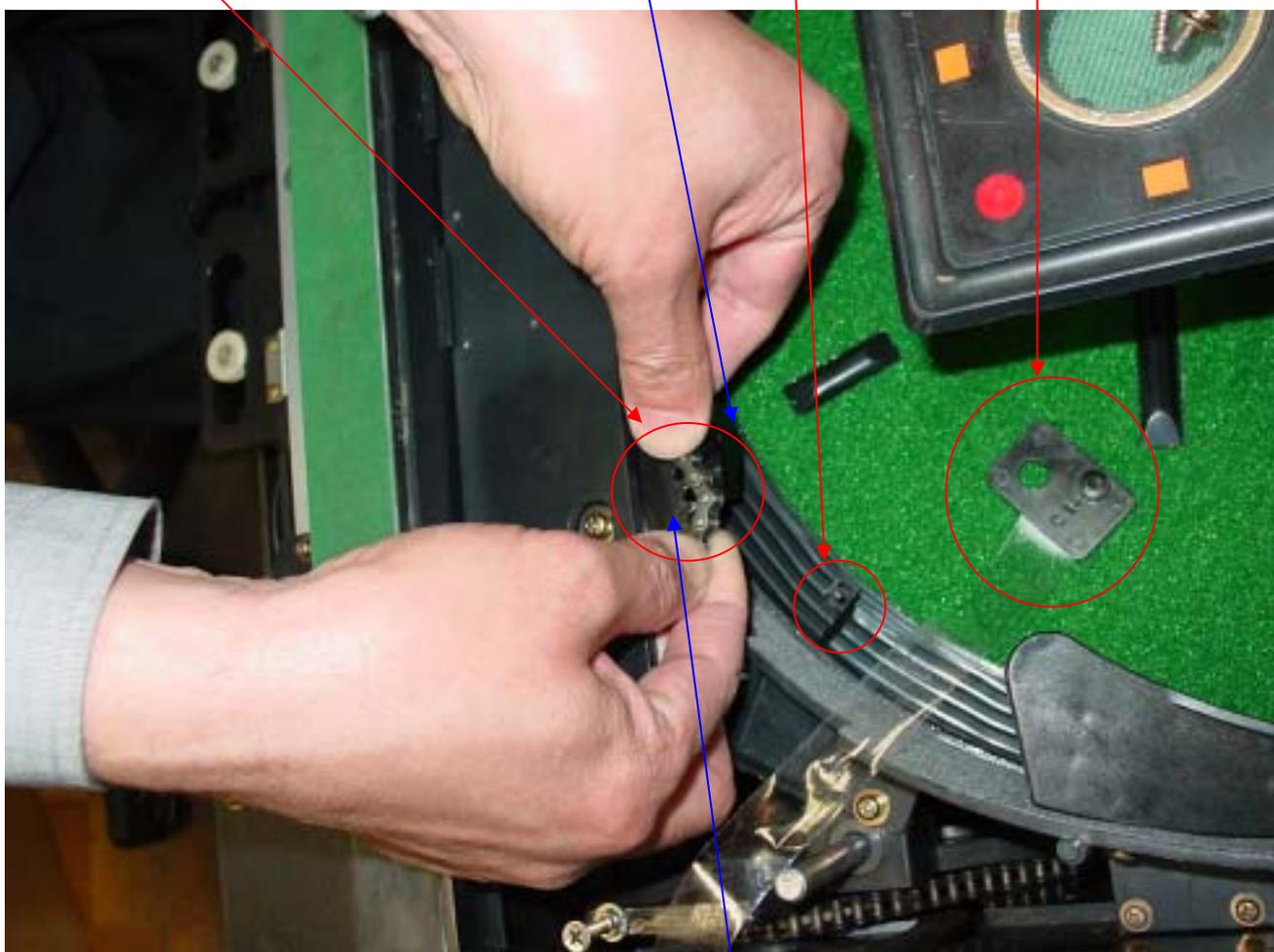
1コマずらした状態です。

MG

T.T の突起

シュー

6 図



スプロケット(歯車)

\*パイを T.T の突起のまえに置き、MG がうまくパイを拾ってくれたら成功です。

a. MG の真下にパイが来る様にセッティングして下さい。

b. 8 図の様に真上から見て T.T の突起が MG の角に隠れる位が目安となります。

( 1 1 図参照して下さい。)

7 図



\*ビスはこの様な場所  
ではなく、別の安全  
な場所に置く事。

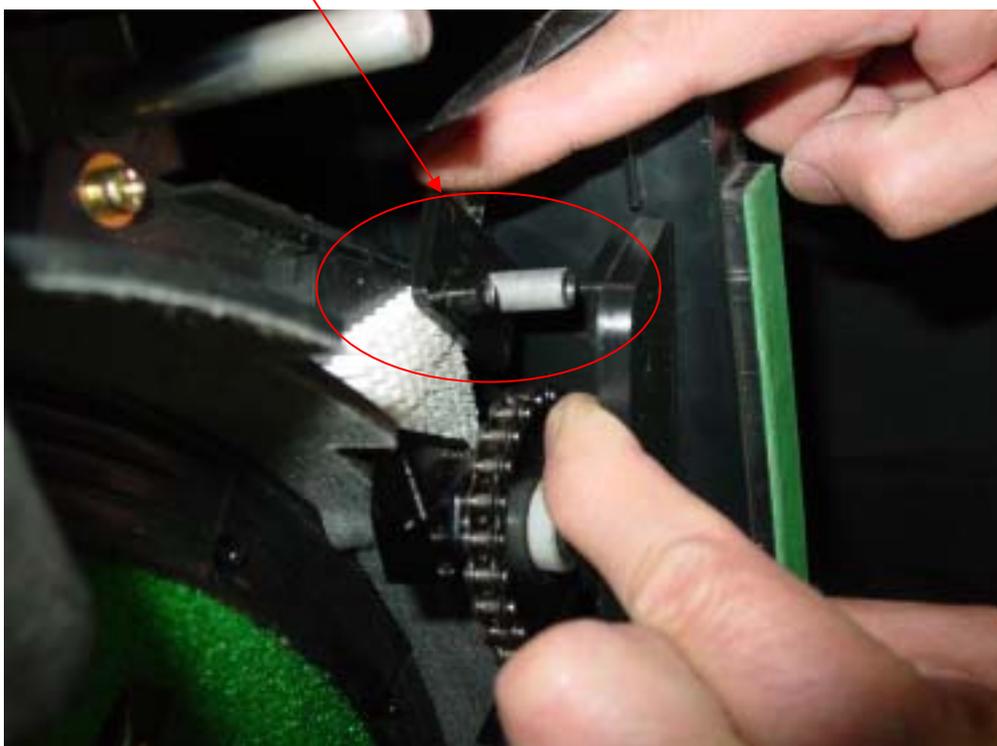
パイの拾いが良い位置

シューは邪魔に  
ならない位置に置く。

シューを柱に入れます。

シューの穴に柱が通る様に入れます。

8 図



シューが少し動く程度にシュー固定ビスを仮留めします。

シュー固定ビス(タッピングビス)

9 図



スプロケットのベアリング部はセンターラックの穴の部分に、センターラック固定柱はセンターラックの固定穴にきちんと収まる様にはめ込みます。

(スプロケットとチェーンを持って南面方向にずらしながら、スプロケットベアリングを固定穴に収めます。)

(きちんと出来ると11図の様にチェーンとラックの隙間が殆どなくなります。)

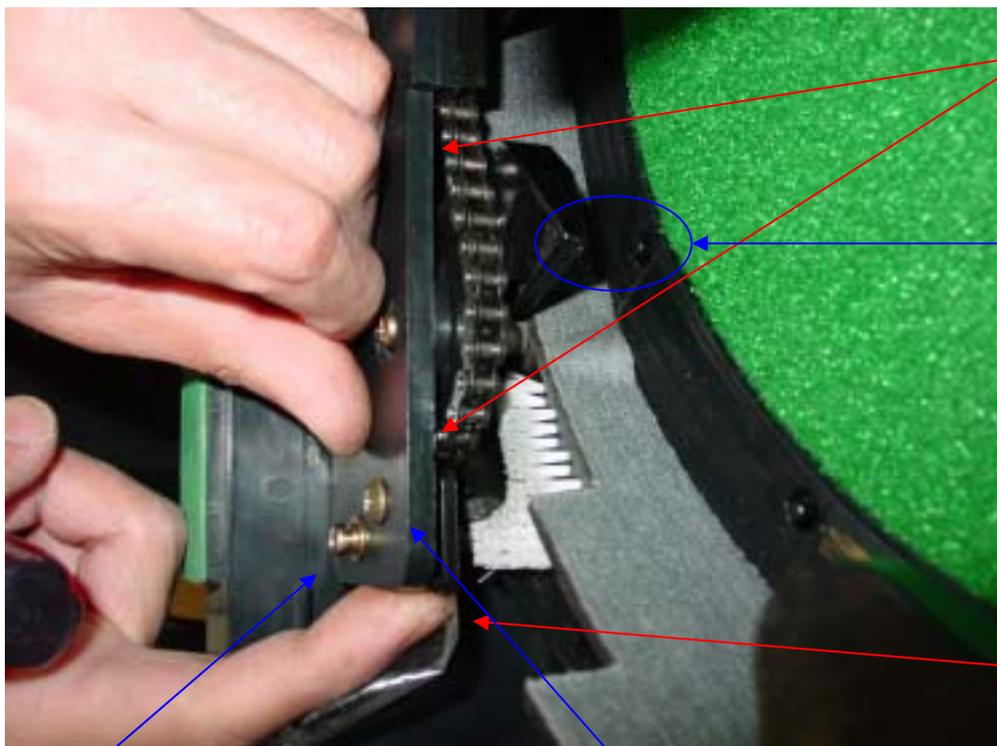
10 図



センターラック固定ビスを柱に仮留めします。

\* 仮留め後、柱がきちんと入っているか再度確認の上、柱のビスを締め付けます。

1 1 図



\* チェーンとラックの隙間が殆どなく良い状態です。

\* MG と T.T の位置が丁度良い状態です。

\* 指で軽くチェーンの方向に押さえる。

\* 先にセンターラック固定ビスを締め付ける。

\* 最後にシュー固定ビスを締め付ける。

1 1 図の様に指で軽く押さえてシュー固定ビスを締め付けて下さい。

\* 最後に手で軽くターンテーブルを廻して見て下さい。

問題がない様でしたら電源を入れて、通常通りに作動させてみて下さい。

\* 何か問題が生じた場合は、ご連絡下さい。

### 注意事項

- 1 . 電源のプラグを抜いてから始めて下さい。
- 2 . 精密機械ですので、全てに対し力任せに作業しないで下さい
- 3 . 機械のメンテナンスですので、怪我をしないよう十分に気を付けて下さい。
  - \* 怪我等の事故に対して、弊社は責任を負えません。
  - \* 自信のない場合は、ご連絡頂くか返送して頂き弊社にて修理致します。
- 4 .